



愛知県 タイホウコーポレーション株式会社  
「障害者支援活動を中心とした  
総合的社会貢献」事業



タイホウコーポレーション株式会社  
代表取締役 社長  
小野直彦さん

地域のすべての人々に  
笑顔をもたらすために

社会福祉法人と手を携えて障害者支援を続けるパチンコ&スロット19ホールのほか、ファストフードを中心とした飲食業、清掃業、保険業などを手がける愛知県名古屋市タイハウグループ。グループ会長の小野金夫氏は、長く愛知県遊技業協同組合の理事長を務められ、その在職中の1976年には、愛知県で大衆文化に貢献された方々を公募・表彰する「パチンコ大衆文化賞」(現在は「パチンコ大衆文化・福祉応援賞」に改称)を創設された方である。この事業は、2006年度の社会貢献大賞を受賞している。

グループのレジヤサービス部門を担うタイホウコーポレーション株式会社では、企業として、地域の人々の幸せを最優先に考えることを理念に、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいるが、そのひとつが社会福祉法人AJU自立の家を通じた支援活動である。AJU自立の家は、重度障害者が市民とともに地域社会の中で豊かな生活創造を実現するため、新しい形の福祉にチャレンジしているところである。最大の特長は、障害者自身が中心となって施設の企画から運営まで行っていることである。

タイホウコーポレーション(株)では、AJU自立の家と共同して、毎年4月に愛知県体育館で開催される「スポーツフェスティバル」や8月の「ど真ん中祭りチームあじゅら」の支援、9月に愛知県芸術劇場で開催される「ウエルフェアコンサート」、さらに12月の「合同クリスマスパーティ」の実施など、年間を通じて障害者を支援する活動を実践している。これらの活動には、約400名の社員が参加して、積極的にバックアップしている。さらに毎年4月の昇給時には、全社員が献金にも協力している。

これだけの社員が、しかも年間を通じて活動をしているということは、タイホウコーポレーション(株)にとって社会貢献活動は、もはや日常行動ということになる。社会貢献が企業としての遺伝子に組み込まれているといっても過言ではないだろう。



社員がサポートスタッフとして参加している名古屋シティ・ハンディマラソン



4月に行われたスポーツフェスティバル



ど真ん中祭りに出場した「チームあじゅら」を支援

国際交流や文化活動も積極的に支援・実施

障害者支援としてもうひとつ注目されるのが、障害を持つ方々と日ごろスポーツをする機会に恵まれない人々が集まって、マラソンをしながら友情を深めるイベント「名古屋シティ・ハンディマラソン」に特別協賛するとともに、社員がサポートスタッフとして参加していることである。この大会には、名古屋市民だけでなく、韓国、タイ、フィリピン、バングラデシュなどからも選手が参加し、福祉活動を通じた国際交流の役割も果たしている。

また、文化事業として見逃せないのが、1995年から開催している「タイハウグループ・スプリングコンサート」である。小林研一郎指揮、名古屋フィルハーモニー交響楽団演奏で、毎年、愛知県芸術劇場で開催されるこのコンサートには、市民を中心に約18,000通の応募があり、そこ

から抽選で選ばれた1,800名を招待しているが、すばらしい音楽と感動を届けるコンサートとして人気がある。このコンサート実施にあたっては、社員約50名がスタッフとして参加して、開催を支えている。

そのほか、地域における犯罪の防止や、犯罪なきアジアをめざして設立された「アジア刑政財団」を積極的に支援し、地域社会の安全構築に貢献するなど、タイホウコーポレーション(株)、およびタイハウグループの社会貢献活動は多岐にわたり、しかも、それらがすべて継続的に行われていることは特筆すべきことだろう。また、事業内容によっては、広く市民に知ってもらいたいという思いから、市役所や新聞紙上での告知などを行い、周知を図るなどきめ細やかな配慮も見られる。